

小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

口からこう門まで、食物の通り道は、どうなっているの



口、食道、胃、小腸、大腸の順に食物を消化して、必要なものを吸収し、いらぬものをこう門から出すのさ。

食物は、種類によって口、胃、小腸で少しずつ消化されていく

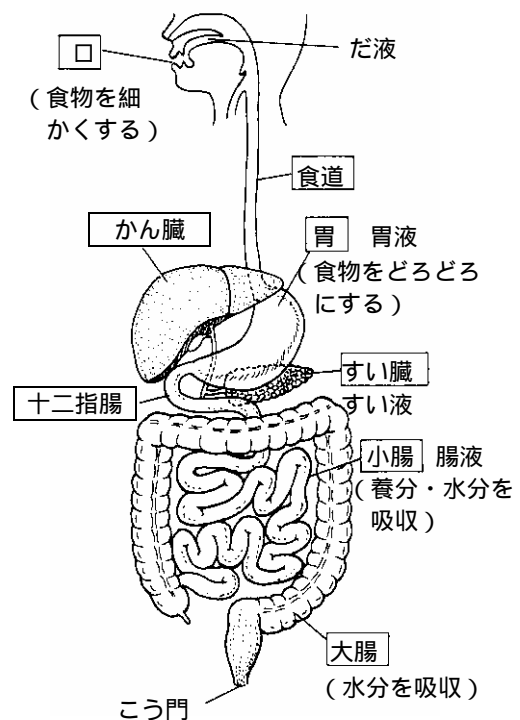
口で食物をかむと細くなり、デンプンは、だ液によって体内に吸収されやすい、糖分とうぶんに変わります（これを消化という）。舌で食道に送られた食物は、続いて胃に送られます。胃では、強い酸性の胃液で食物全体がどろどろのおかゆのようになり、タンパク質は胃の消化液しょうかえきで消化されます。

胃から小腸に送られるとちゅうの十二指腸で、すい臓そうから出るすい液という消化液によって、デンプン（糖分）、タンパク質、しぼうが消化されます。

体内で吸収できる形に変わるのは、小腸の中
小腸に送られた食物は、小腸の消化液によって、体内に吸収される養分の形にまで、完全に消化されます。

これで、デンプンはブドウ糖に、タンパク質はアミノ酸に、しぼうはしぼう酸に変化して、小腸のかべから血液の中に吸収され、体内の必要なところへ運ばれていくのです。

養分を吸収された後のどろどろした食物は、小腸や大腸で水分を吸収され、かたくなってうんちとなり、こう門から外に出されます。



<人間の消化器官と消化>